



美しい歌声が観客を魅了した

## 日本初公演の劇に感動

中国余姚市伝統劇団「姚劇」

柳川藩主立花宗茂らに仕え、「柳川学問の祖」と言われる儒学者、安東省菴。その省菴が師事した朱舜水の生誕地である中国、余姚市の劇団、姚劇の公演が1月9日、水の郷ホールで行われました。姚劇は17世紀に始まったとされる中国の無形文化遺産。今回が海外初公演で、当市のほか、小郡市でも公演しました。

中国伝統楽器の音色と、劇団員の澄んだ歌声で演じられる劇に会場いっぱいの観客は魅了され、初めて観る姚劇を堪能していました。

## 体にいい給食ありがとう

豊原小学校「訪問給食」

1月19日から23日の給食週間に合わせて市内各校で給食に感謝する行事が開催されました。

1月21日、豊原小学校で訪問給食が行われました。この日は、1年生36人と6年生34人の教室に、大和給食センターの栄養士と調理員が訪問。1年生の教室では、児童と一緒に給食を食べながら、しりとりなどをして交流しました。児童が「いつもおいしく体にいい給食をありがとう」とお礼を言い、調理員が「これからも残さずに食べてね」と話しました。



給食作りに使うしゃもじの大きさにびっくり



恩師との再会を喜ぶ新成人

## 柳川のよさを伝える立派な大人に

市成人式

市では、新成人の門出を祝おうと1月11日、市民会館で成人式を開催。今回も新成人が実行委員会を組織して司会や謝辞などを行いました。今年の新成人917人の中には、平成生まれも参加しました。

式典では、原翼さん（三橋中出身）が「今までの俺、今の俺、これからの俺」と題して、故郷を離れて初めて気付いた柳川への思いを力強く述べました。また、恩師からのビデオレターも披露され、記念品として柳川市を紹介したDVD「柳川物語」が贈られました。

# 市民のひろば



## 世界に共通する“愛”を実感

MARUの会が創立20周年

草の根国際交流を推進する女性たちのボランティアグループとして1988年12月に誕生したMARUの会。

創立20周年記念の祝賀会が1月10日、御花で行われ、多くの関係者が集まり、メッセージアルバム「愛」も発刊。市内小中学校と図書館に寄贈しました。「地球的発想で地域で行動」をモットーに、最初は5人でスタート。異文化間コミュニケーションセミナーやカナダからの高校生修学旅行団のホームステイ受け入れなどを行ってきて、現在会員は40人です。



日本語で柳川の良さを発表

## 旅の宿老いた母御の背を流す

水も人もキラリ

川柳

今月の入選作品・課題「旅」

諸藤 高（明野）

石川啄木は母御のあまりの軽さに背で泣いた。作者は母御の小さな背を流しながら来し方を振り返る。こういう親孝行ができるのも旅だからこそ。私にも背を流さねばならない母がいる。髪に白いものがあるうとどこまでも子は子。川柳を考える時、人は人に優しくなれる。

- |                  |        |        |
|------------------|--------|--------|
| 五十年ねじれ解きの二人旅     | 鶴岡定子   | (茂庵町)  |
| 風花に逢いたく旅にいる独り    | 阿津坂典代  | (矢留本町) |
| ひとり旅詩人になって雲を追う   | 川淵 学   | (佃町)   |
| 旅の駅ふとふりかえる国訛り    | 梅崎孝子   | (七ツ家)  |
| 途中下車しない夫婦の旅だから   | 阿津坂マサエ | (矢留本町) |
| 風花に乗って私の夢紀行      | 吉開綾子   | (筑紫町)  |
| 大吉をポッチに秘めてぶらり旅   | 米沢葉子   | (矢留本町) |
| 無人駅迎える山と麦畑       | 野片義博   | (隅町)   |
| 母の旅社参拝も付いている     | 砥上征夫   | (鷹ノ尾)  |
| 楽しんで命の旅に今日も生き    | 原田アツ子  | (有明町)  |
| リハーサルなしの旅路を無事のぼし | 花田扶巳子  | (中島)   |
| 老介護力タログめくる旅を行く   | 佐田輝喜   | (明野)   |
| 旅すれば新発見が待っている    | 宮崎 武   | (弥四郎町) |
| 強行軍旅の思い出黒部郷      | 荒巻ミエノ  | (南浜武)  |
| 楽しみは寝て見る夢の旅の宿    | 小柳エツ子  | (中島)   |
| 家の事みんな忘れて旅の宿     | 田中與志子  | (六色)   |
| 鈍行の旅も味わい深いです     | 重松秀秋   | (椋屋町)  |
| 旅先のロマンちよっぴり胸に秘め  | 野口文子   | (徳益)   |
| 旅をする心も体もリフレッシュ   | 内村美子   | (七ツ家)  |

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん（七ツ家）。2月の課題は「待つ」です。自作、未発表の作品（1人3句以内）を、2月13日（※必着）までにお送りください（川柳と明記）。入選作品は3月1日号に掲載。

●応募方法 作品に、住所、氏名、電話番号を書いてハガキかFaxまたは直接、柳川庁舎企画課広報係（内線348）へ。

カーテンの向こうで春が待っている

流青



OBも加わり、迫力ある演奏を披露

## 会場を包む吹奏楽の夕べ

柳川高校吹奏楽部「定期演奏会」

柳川高等学校（高巢恭子校長）の吹奏楽部は、1月18日、市民会館で定期演奏会を行いました。

「吹奏楽の夕べ」と題したこの演奏会は、今年で41回目。オープニングは応援部の力強い演武とともに開幕。野球部の応援コールメドレーでは、日ごろ一緒に応援するためか、息もぴったりでした。今回は、クラシック曲や映画音楽に加え、子どもたちにも楽しんでもらおうと、「崖の上のポニョ」やディズニーの曲なども選曲。詰めかけた友人や家族は、会場いっぱいに広がる生の音楽に酔いしれていました。